

## 2. 資器材・非常用物品等の準備

都市型水害から従業員等の安全や事業所の資産を守るためには、台風や局地的大雨の危険性を十分に理解するとともに、日頃からの備えと浸水や避難に関する知識・情報を持つことが大切です。

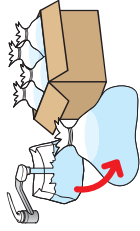
### ○ 浸水を防ぐ

排水溝や雨水ますの吸い込み口がごみなどで詰まると、内水はん蓋<sup>※</sup>の原因になってしまいます。ビルなどの建物内部が浸水するのを防ぐためには、日頃から、排水溝や雨水ますを清掃しておく必要があります。また対策として、土のうや防水板を準備しておくことで安心ですが、事業所にあるものを使って簡易的に対策を行うこともできます。

※内水はん蓋…河川から水があふれなくても、下水道の排水能力の不足などが原因で、降った雨の排水処理ができずに引き起こされるはん蓋外水はん蓋…河川の堤防から水があふれる、または破壊して建物などが浸水すること

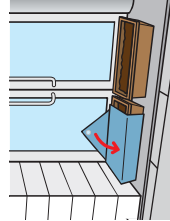
### 1 簡易水のう

45リットル程度の容量のごみ袋を2〜3重にし、中に水を半分程度(持ち運べる程度)入れて、さつく縛れば完成です。さらに、作成した簡易水のうを段ボールに入れると強度が増して、積み重ねることもできます。



### 2 簡易土のう

土を入れたプラントナーを並べて、レジャーシートで包めば完成です。水を入れたポリタンクでも代用できます。



### ○ 地階では

地下室、地下駐車場、地下街等については、浸水経路や形態を把握し、浸水時の安全を確保できかどうかを点検しておく必要があります。階段に水が流れ込んでいても、従業員等が安全に避難できるように手すりを設置したり、外部から地階に通じる出入口には、防水板を取り付けられるようにするなど、必要に応じて対策を検討しましょう。

#### 【建物の浸水対策の例】

- 出入口の位置を高くする。
- 土のう、防水板を準備する。
- 電気設備や空調設備は、高所に設置する。
- 地下室等の扉は内開きにする。

### ○ こんなところも要注意

地下室、地下駐車場は豪雨時に雨水が流入する被害が多発しています。地下等では、思わぬところから下水が逆流して噴き出すおそれがありますので、排水ポンプ等を設置しましょう。

- 【逆流のおそれがある場所】
- トイレ ● 洗濯機の排水口
  - 風呂場の排水口 など



## ○ 区の水害対策

### 1 品川区防水板設置工事助成

大雨・津波・高潮などによる浸水被害の軽減を図るため、住宅・店舗等に防水板の設置およびこれに伴う関連工事費の一部を助成する制度です。ただし、立地地盤が標高5mより高く、平成15年2月25日以降に建築確認を得て行った、開発指導要綱の対象物や半地下構造の建築物は除きます。



申請者の内訳		限度額	助成割合
個人	品川区内に住民登録している個人	100万円	工事費用の4分の3
	その他の個人	50万円	
法人	申請日より1年以上前から品川区内に登記をしている法人	100万円	工事費用の2分の1
	その他の法人	50万円	

### 2 品川区雨水浸透施設設置助成

宅地内に雨水浸透施設(雨水浸透ます・浸透管)を設置する方に、その工事費の一部を助成する制度です。雨水を地中に浸透させることで、大雨でも浸水被害を軽減させることができます。ただし、「品川区中高層建築物等の建設に関する開発環境指導要綱」に該当する建築物・急傾斜地等で雨水浸透により敷地の安全性を損なうおそれのある場所、地下水位の高い区域などは、対象になりません。



設置工事費の一部を助成 上限40万円まで  
雨水浸透ます\*1つ\*からでも助成します

穴のあいた「ます」や「管」から  
雨水を地中に浸透

申込み・相談窓口  
品川区河川下水道課水辺の係  
TEL:03-5742-6794

出典：東京都総合治水対策協議会



### 対策チェック

- 事業所周辺の浸水予測を把握していますか
- 事業所周辺の土のう設置場所を把握していますか
- 土のう設置場所までの道順に従業員等全員に周知していますか
- 必要な資器材は準備しましたか

